

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年9月3日

9月1日現在：

コロラド州の2002年産冬小麦は早魃の被害を受け、例年より早く8月下旬には収穫が完了した。収穫の最終段階より2003年産冬小麦の播種の為Fallow地の整備が開始された。9月1日までの1週間の平均農作業可能日数は6.3日であり、小麦生産地に待たれていた降水が有り、2003年産冬小麦の播種が開始された。例年より多少遅れ気味のスタートである。土壌水分特にSubsoilの水分は極めて悪い状態である。

土壌水分：

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	38	13	47	2
Subsoil (%)	86	13	1	0

小麦進捗状況：

	2002 Crop	2002 Crop	2001 Crop
Seeded (%)	3	5	4

2001年産、2002年産の作付・収穫面積は次の通りである。

	作付面積 エーカー	収穫面積 エーカー
2001年産冬小麦	2,350,000	2,000,000
2002年産冬小麦	2,350,000	1,650,000*

*2002年8月1日USDA予想。

昨年の作付け品種のトップはArkon(23.5%)であり、2位にPrairie Red(13.9%)が続いていた。中西部にHard White Wheatの作付けを奨励する動きがあり、HWWの作付けには条件が付くが政府補助金も出される事から、2003年産の作付け品種の動向に興味を持たれる。

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com